

平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

# 検証シート

大阪市立豊新小学校

## 平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立豊新小 学 校

児童数

81

### 平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.96	16.55	30.39	32.37	40.37	9.39	135.82	21.91	48.14
大阪市	16.39	19.24	32.42	39.47	48.99	9.37	147.87	22.59	52.61
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
女子	16.97	14.83	34.00	30.67	36.03	9.67	133.60	11.60	48.71
大阪市	16.20	18.22	36.84	37.74	39.18	9.62	142.12	13.94	54.30
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54

### 結果の概要

男女とも、握力以外は全国平均および大阪市平均を下回っている。特に男子は、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳びの数値が極端に低い。  
運動時間を見ると、特に男子に学校の授業等以外の平日の運動時間が全国平均や大阪市平均の約3分2しかない。逆に、地域のスポーツクラブに所属している児童の割合は多いので、土曜日の運動時間は、大阪市平均、全国平均に近く、日曜日の運動時間は全国平均や大阪市平均を上回っている。  
普段、登校で歩く時間も短く、1日に登校で歩く時間が5分未満の児童が6割弱いる。  
また男子では、腕を使った運動を放課後や休日に行っている児童の割合が極端に低く、ボールを使った運動をしている児童の割合が多い。女子はその逆になっている。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

現在の5年生は、運動をする児童としない児童の差が大きい。運動が好きな児童は6年生にも混じって体を動かしているが、運動をしない児童はほとんど運動場に出てこない。  
学校では、「かけ足週間」や「なわとび週間」に取り組んでいるが、児童が運動をするきっかけにはなと思うが、体力アップにはつながっていないのかもしれない。取り組みをきっかけにして、児童が継続して取り組むようなしなかけを考える必要がある。「なわとびカード」や「かけ足カード」は全学年使っている。

子どもの数が減ってきて、幼いころから家の近くの友だちと遊ぶ機会が減ってきている。また、ゲーム機などの普及や近隣の公園で野球やサッカーなどの球技を禁止しているところが多く、そのためか、体を使って遊ぶ遊び方を知らない子どもが増えてきている。学校でも体を使った遊び方を体育の授業や「みんな遊び」の機会をとらえて、低学年で紹介していくようにしていく必要がある。

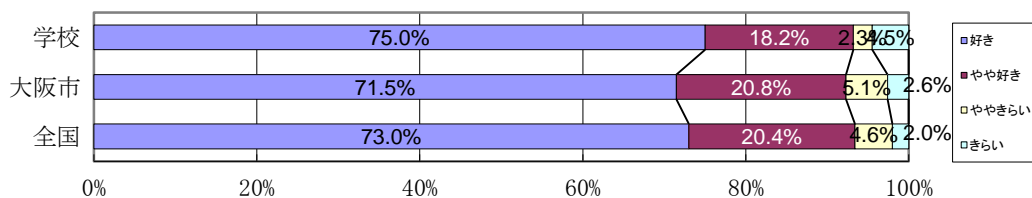
# 運動やスポーツについて（男子）

質問  
番号

質問事項

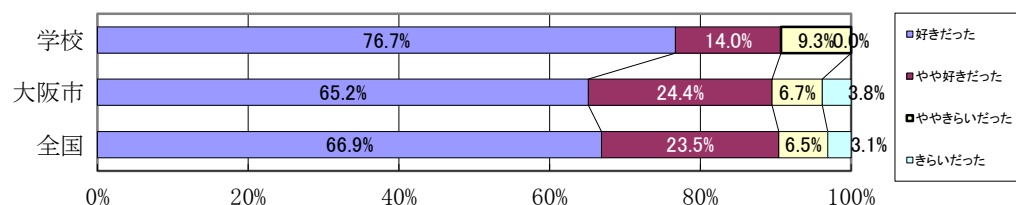
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



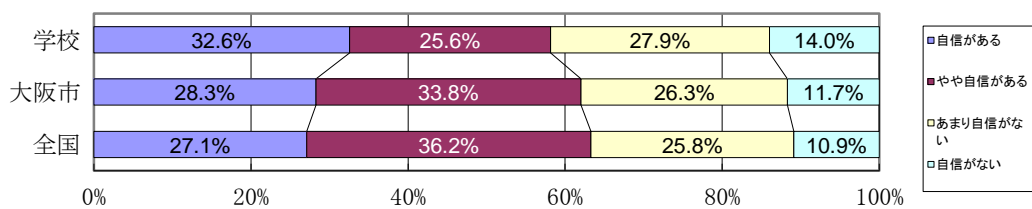
2

小学校入学前は体を動かす遊びが好きでしたか



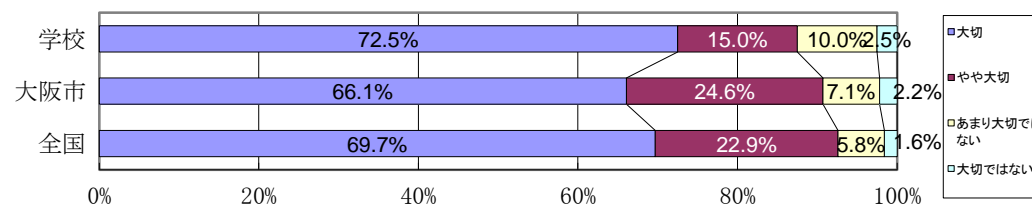
3

自分の体力に自信がありますか



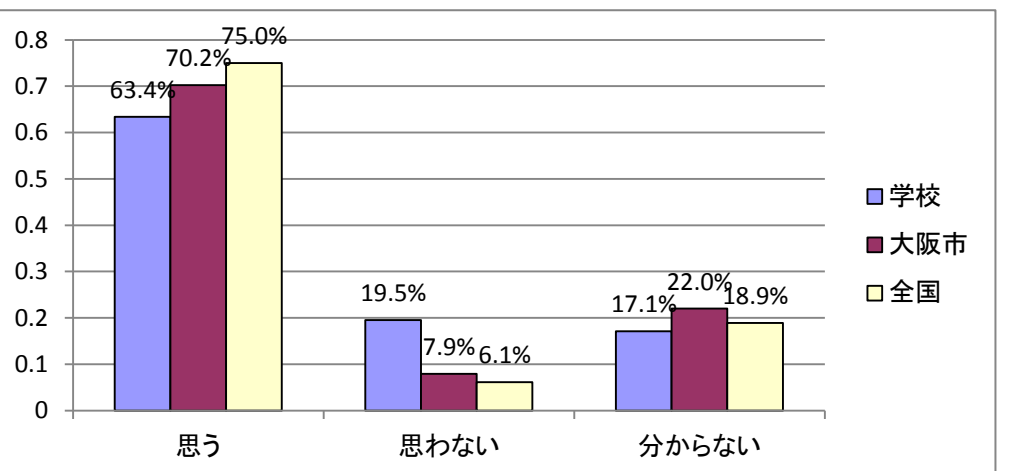
4

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



5

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。

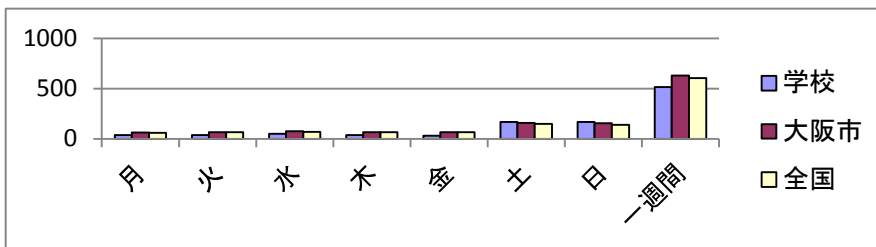


## 運動やスポーツについて（男子）

### 質問 番号 質問事項

6

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを、合計で1日およそ何分くらいしていますか。



### 成果と課題

アンケートを見ると、体を動かす遊びやスポーツを好きな児童の割合は、大阪市平均、全国平均とそれほど変わらない。しかし一週間の運動時間を見てみると、平日の運動時間が全国平均や大阪市平均の約3分の2しかない。また、後のアンケートにあるように、地域のスポーツクラブに所属している児童が多く、土日の運動時間は多くなっている。一週間の総計を見ると、運動時間は少ない。中学校へ進学後、授業以外で運動をする時間を持ちたいかという質問では、持ちたくないという児童の割合が非常に多い。現在も「みんな遊び」等、学級でみんなで運動遊びをする取り組みをしている学級は多いが、体力アップにつながっていない。

### 今後の取組

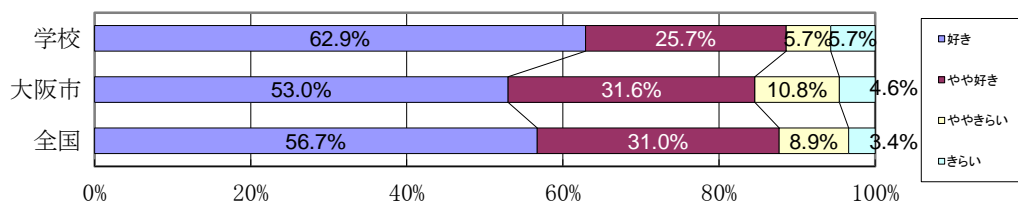
子どもの数が減り、小さい頃から近所の友達と遊ぶ機会が減っているため、いろいろな体を使って遊ぶ機会が減っていると考えられる。学校では、気軽に運動のできる環境づくりや、遊びの紹介などのきっかけづくりをしていき、児童が普段から体を動かす習慣がつくようにしていく必要がある。

# 運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

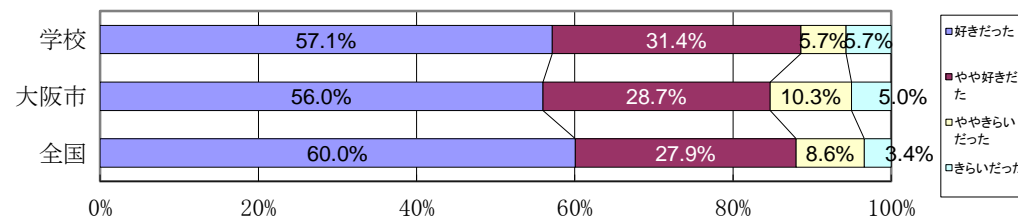
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



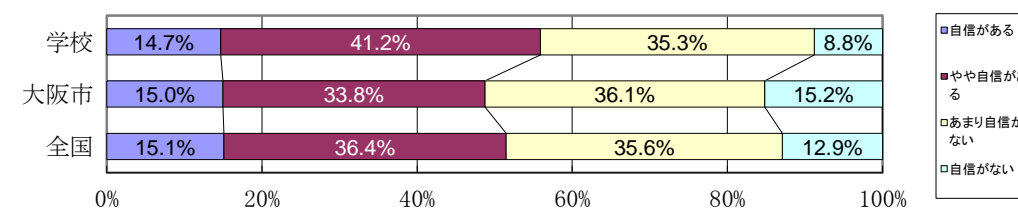
2

小学校入学前は、体を動かす遊びが好きでしたか。



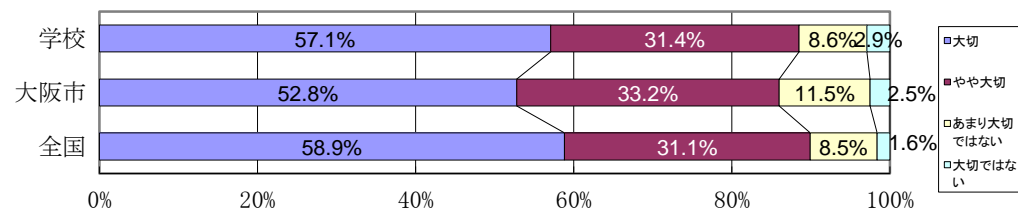
3

自分の体力に自信がありますか



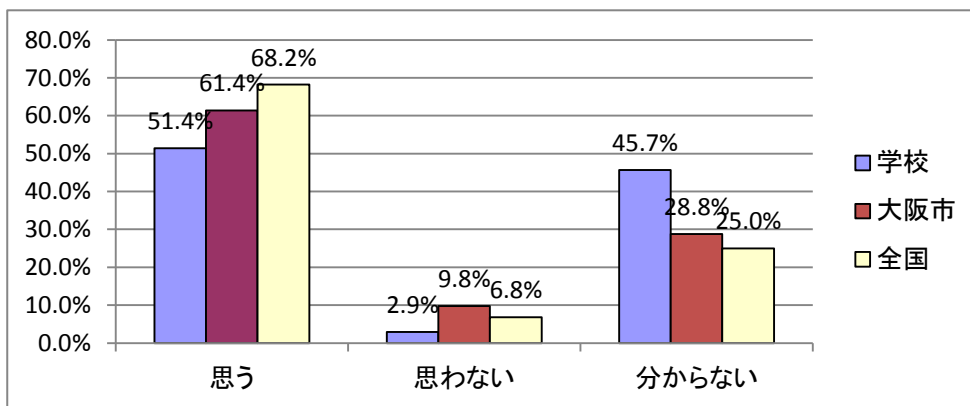
4

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



5

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。

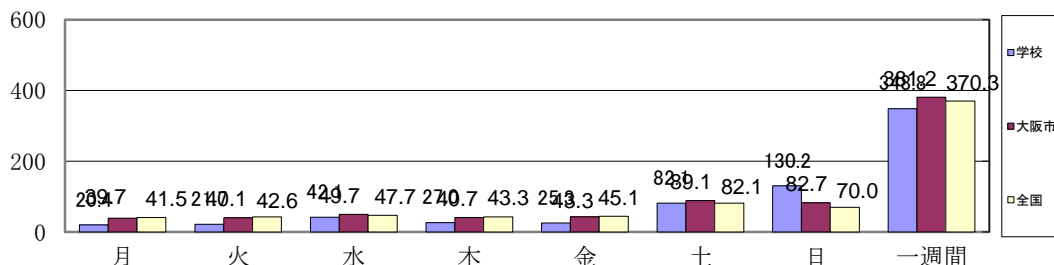


## 運動やスポーツについて（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

6

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを、合計で1日およそ何分くらいしていますか。



### 成果と課題

女子も男子同様運動が好きな児童は大阪市平均、全国平均と変わらない。しかし一週間の運動時間も少なく、中学校進学後に運動をする時間を持ちたいかという質問にも男子ほどではないが、消極的な答えが多い。

学校では、男子同様「みんな遊び」の時間を設けている学級が多いが、体力アップにはつながっていない。

男子に混ざって一緒に体を動かしている女子児童もいるが、高学年になるほど体力差が大きくなり、体を動かしている児童は少なくなっている。

### 今後の取組

男子同様、子どもの数が減り、小さい頃から近所の友達と遊ぶ機会が減っている。それに伴い、いろいろと体を使って遊ぶ機会も減っていると考えられる。

学校では、気軽に運動のできる環境づくりや、遊びの紹介などのきっかけづくりをしていき、児童が普段から体を動かす習慣がつくようにしていく必要がある。

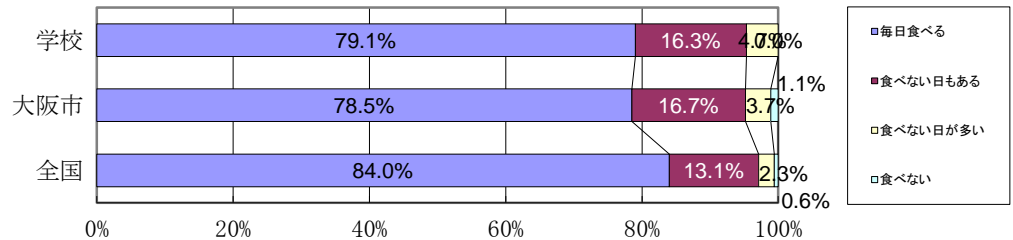
高学年では、男子と女子の体力差を考慮し、共に楽しめる取り組みを考える必要がある。

## ふだんの生活について（男子）

質問  
番号 質問事項

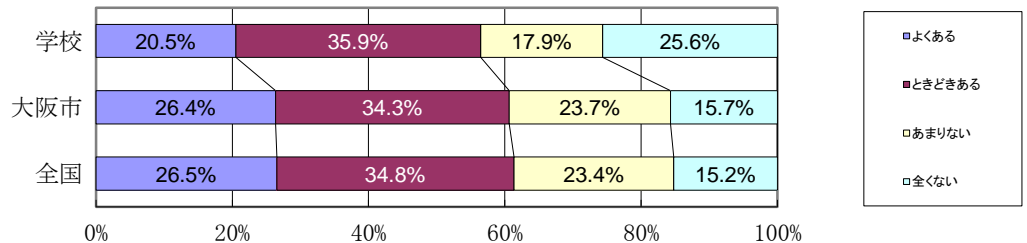
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



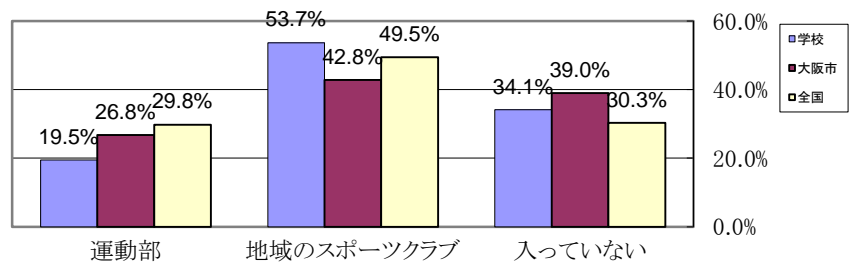
13

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



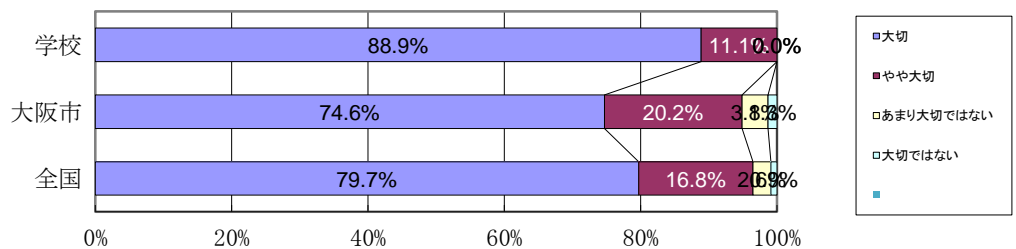
11

学校の運動部や学校外のスポーツクラブに入っていますか(スポーツ少年団をふくむ)。



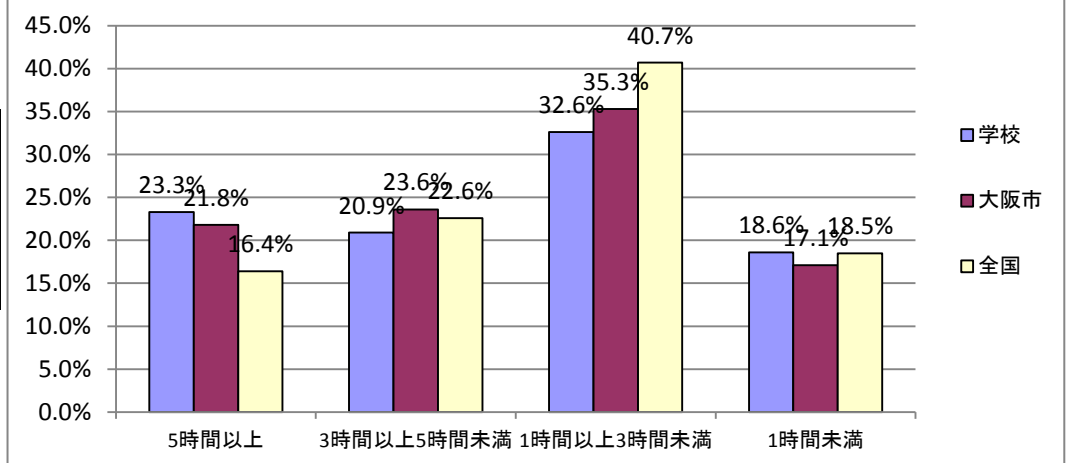
14

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



10

ふだんの平日(月-金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除きます)

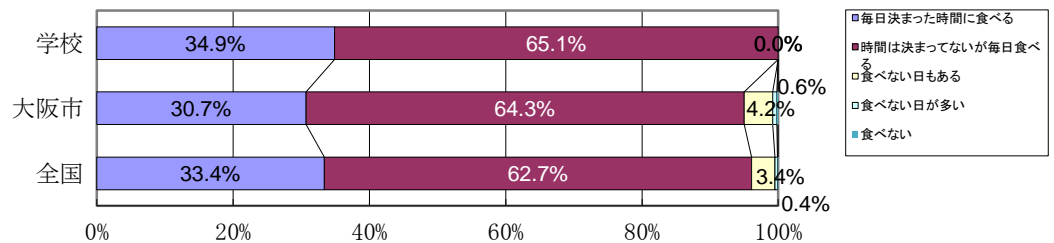


## ふだんの生活について（男子）

### 質問 番号 質問事項

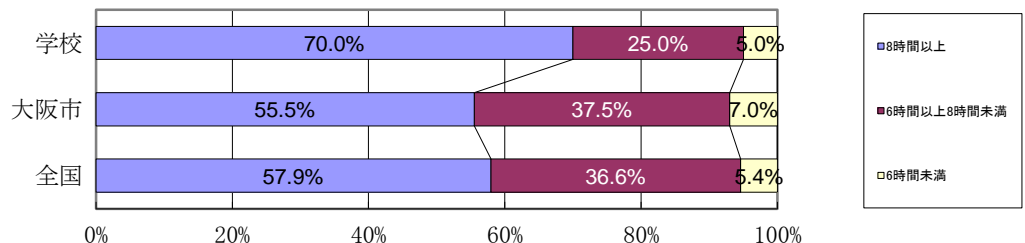
8

夕食は毎日食べますか。  
(学校が休みの日もふくめます)



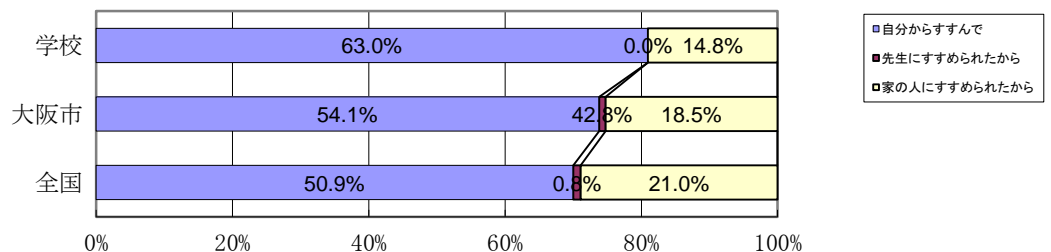
9

毎日どのくらいねていますか。



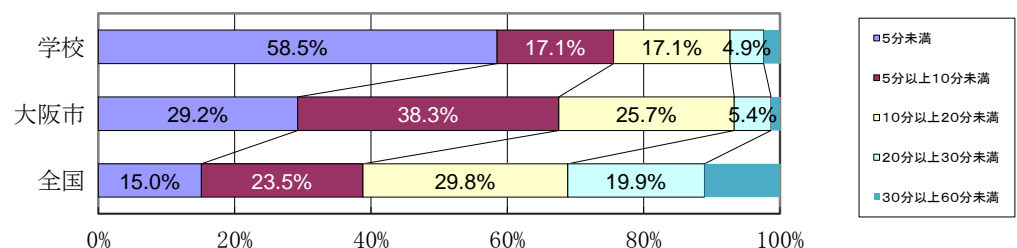
11-2

質問11で「運動部」「地域のスポーツクラブ」と答えた人は、そこに入った一番のきっかけはどのようなことですか



12-2

登校方法を「徒歩」と答えた人は、その時間を教えてください



### 成果と課題

先にも書いたように地域のスポーツクラブに入っている児童の割合は高い。昨年のデータでは、運動部と地域のスポーツクラブが一緒になって、クラブに入っているかいないかの二択となっていたが、クラブに入っている割合が高い年の児童は、平均的に運動能力の数値も高くなっている。また昨年度は運動クラブに入っていないと答えた割合が少なかった。家庭で、運動をすることを勧められている児童の割合が少し低い、児童自身は健康のために運動をすることは大事だと考えているようである。

### 今後の取組

児童がスポーツを続けてやりたくなるようなきっかけづくりや、地域スポーツに互いに誘い合う仲間づくりを行っていく。

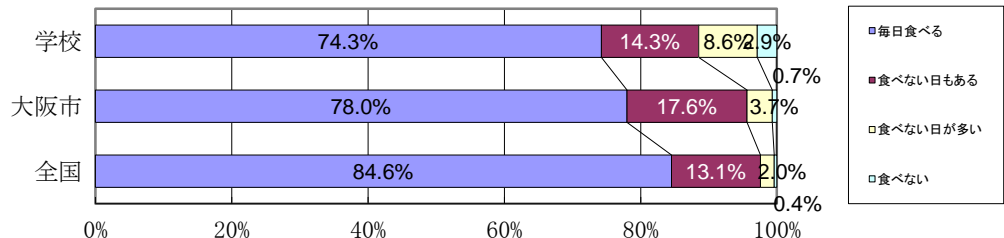


# ふだんの生活について（女子）

## 質問 番号 質問事項

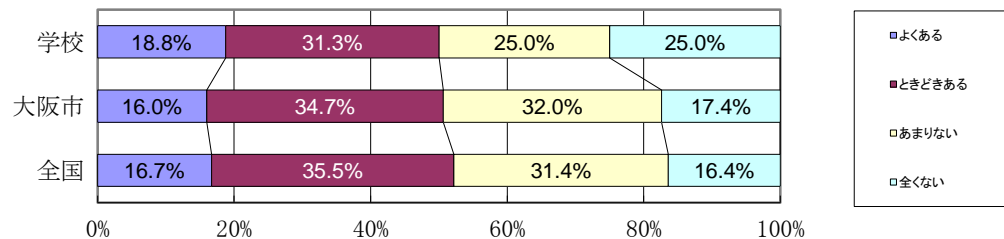
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



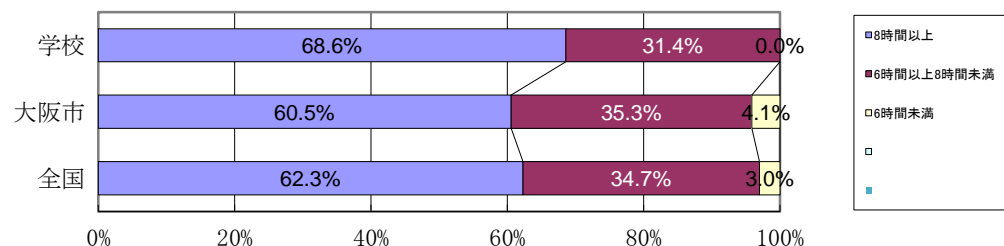
13

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめますか



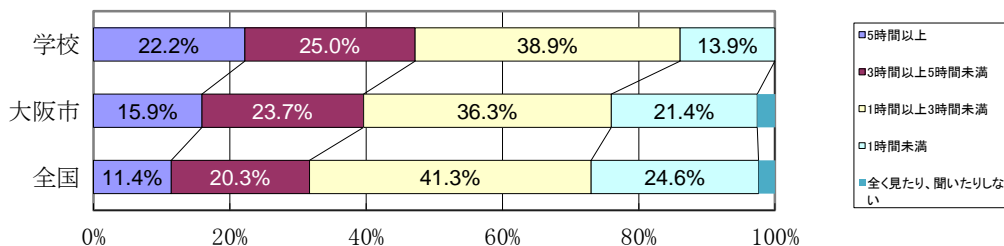
9

毎日どのくらいねていますか。



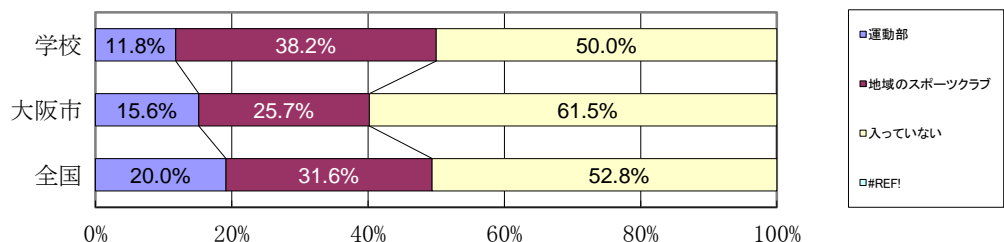
10

ふだんの平日(月-金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除きます)



11

学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか(スポーツ少年団をふくむ)。当てはまるものを全て選んでください

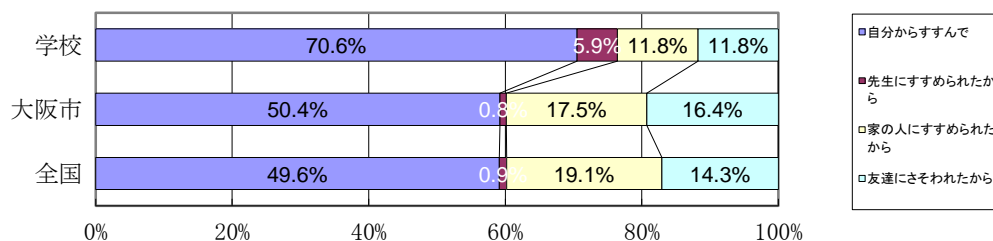


## ふだんの生活について（女子）

### 質問番号 質問事項

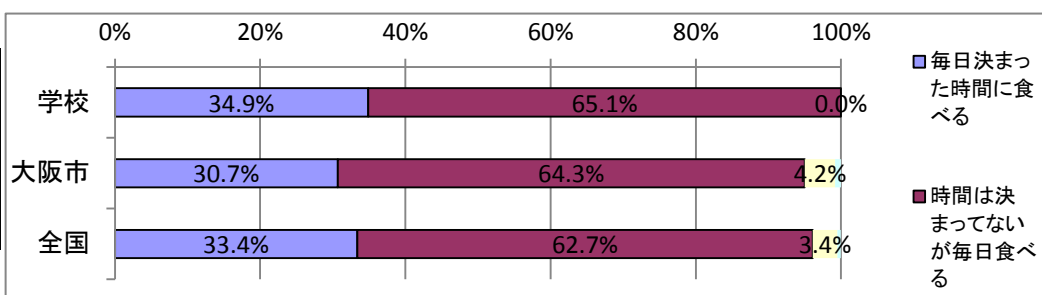
11-2

質問11で「運動部」「地域のスポーツクラブ」と答えた人は、そこに入った一番のきっかけはどのようなことですか質問11で



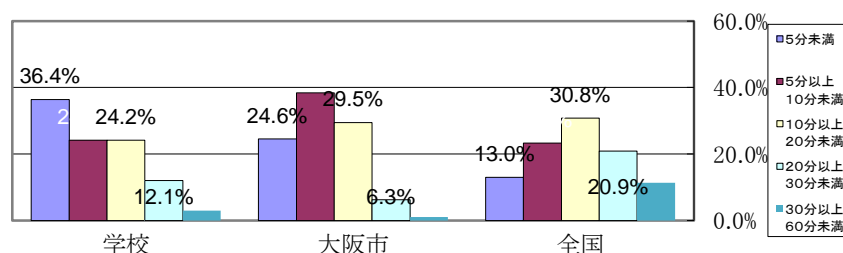
8

夕食は毎日食べますか。  
(学校が休みの日もふくめます)



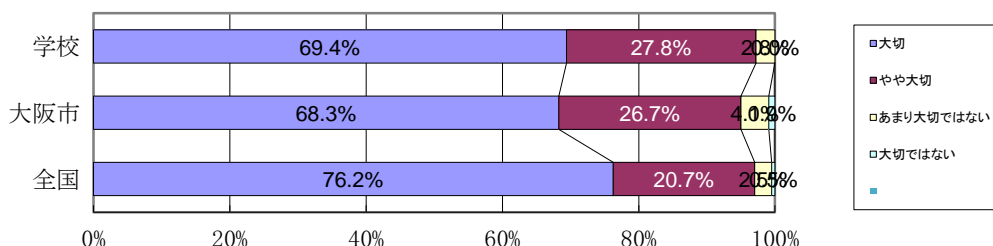
12-2

質問12で「徒歩」と答えた人は、その時間を教えてください



14

あなたが健康であるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



### 成果と課題

女子は、毎日朝食を食べている児童の割合が全国平均や大阪市平均より少ない。それに反して、夕食を毎日食べている児童は100%である。睡眠時間も6時間以上取っている児童で100%になっている。朝食を食べる児童の割合を増やさなければならないが、概ね生活習慣はよさそうである。しかし、学年によって睡眠時間や食事の喫食率は大きく変わる。学校全体で朝食、夕食の準備を各家庭で行ってもらえるよう啓発していく必要がある。

### 今後の取組

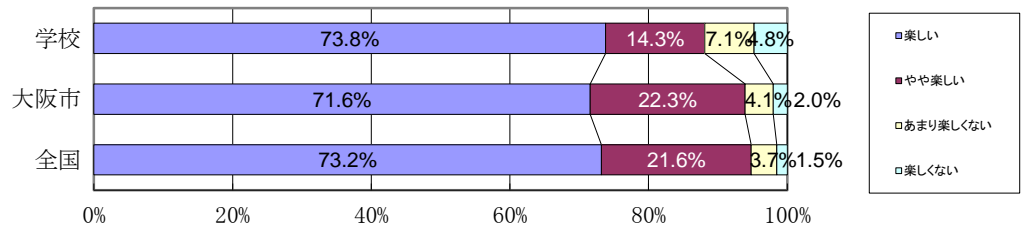
睡眠時間、朝食、夕食の準備に関して各家庭に啓発活動をしていく。  
男子同様、児童がスポーツを続けてやりたくなるようなきっかけづくりや、地域スポーツに互いに誘い合う仲間づくりを行っていく。

## 体育の授業について（男子）

### 質問番号 質問事項

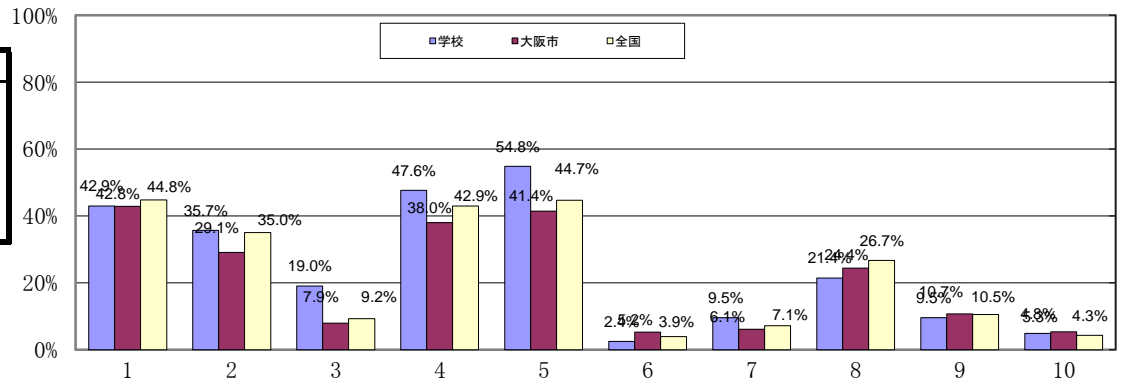
17

体育の授業は楽しいですか



22

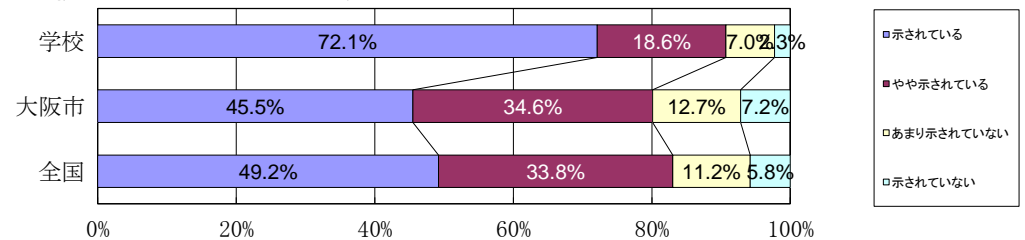
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

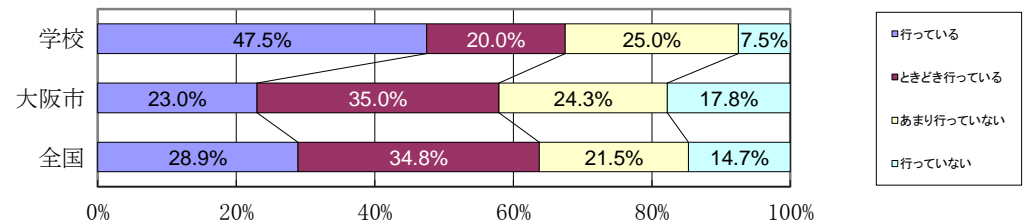
18

ふだんの体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。



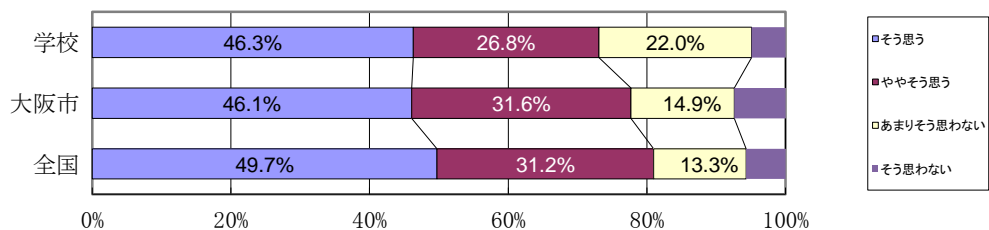
19

ふだんの体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか。



24

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。

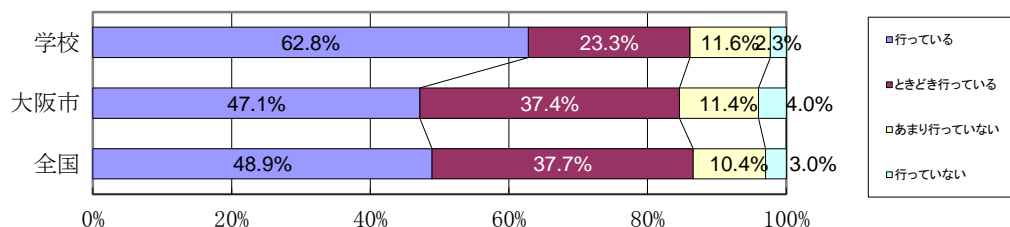


## 体育の授業について（男子）

### 質問 番号 質問事項

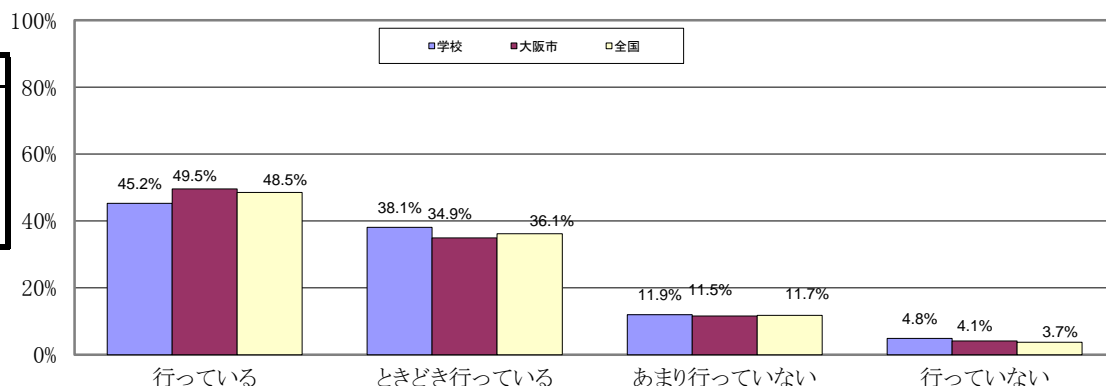
20

ふだんの体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



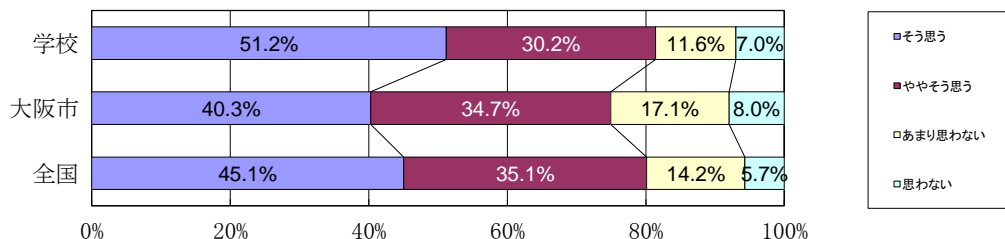
21

ふだんの体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。



23

体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思う。



### 成果と課題

体育の授業では、めあてをしっかりと持って活動しており、児童もそれを意識できている。めあてを達成するため、助け合いやアドバイスができています。できなかったことができるようになったきっかけも、友だちに教えてもらったという項目の割合が高くなっている。また授業の中で、自分に合った場の設定やルールが用意されていると感じている児童が多く、指導者の工夫が結果に表れている。体育の授業で学習している内容が、将来役に立つと感じている児童の割合が低い。

### 今後の取組

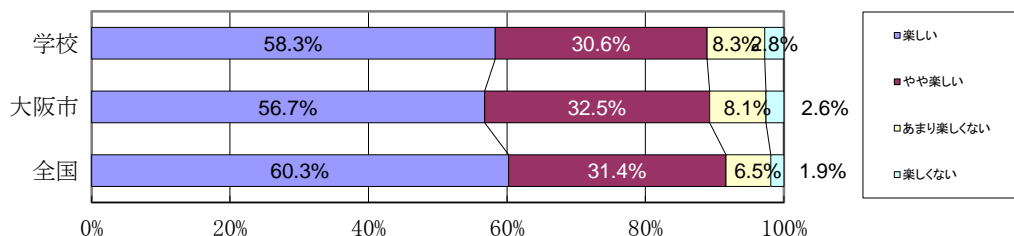
今後も児童が運動を楽しめる場やルールの工夫を行い、児童が運動を続けていきたいと感じるような取り組みを行っていく。  
また、運動をすることが将来にわたって健康で楽しい生活につながっていくことを理解させるような学習の場が必要である。

## 体育の授業について（女子）

### 質問番号 質問事項

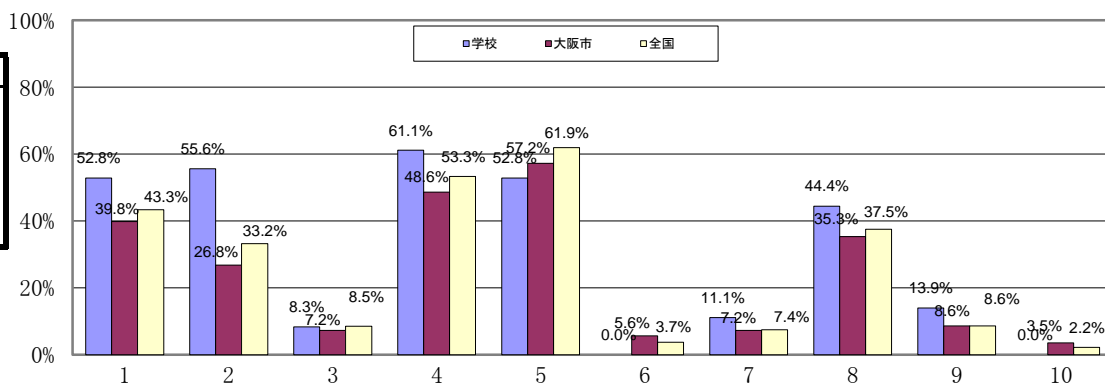
17

体育の授業は楽しいですか



22

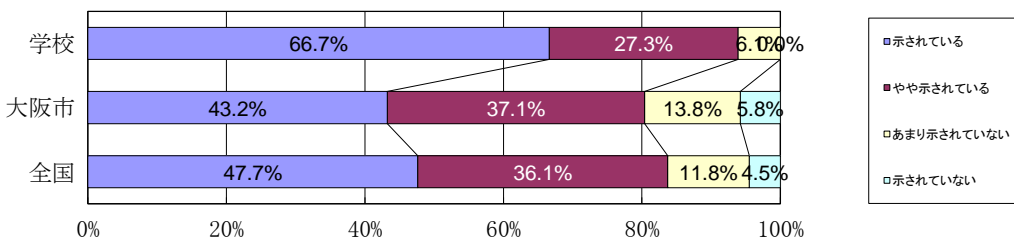
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

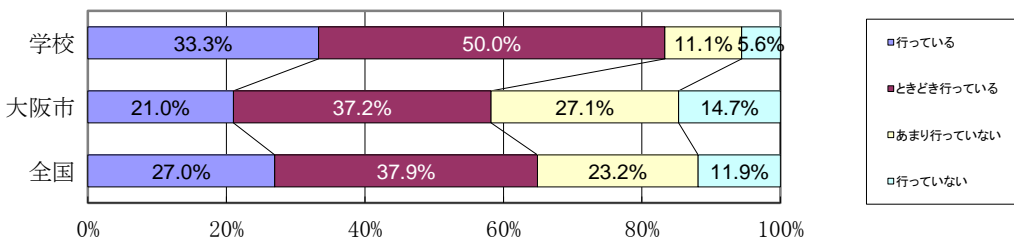
18

ふだんの体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。



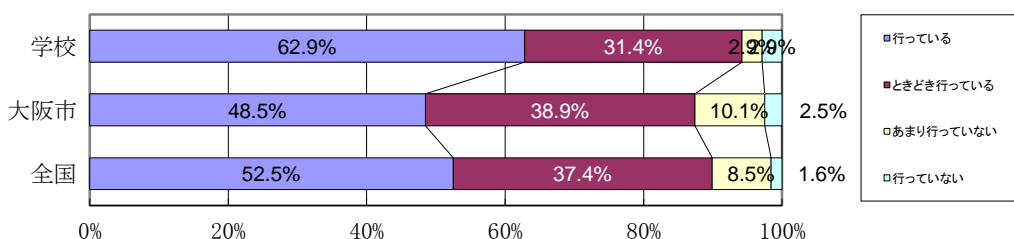
19

ふだんの体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか。



20

ふだんの体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。

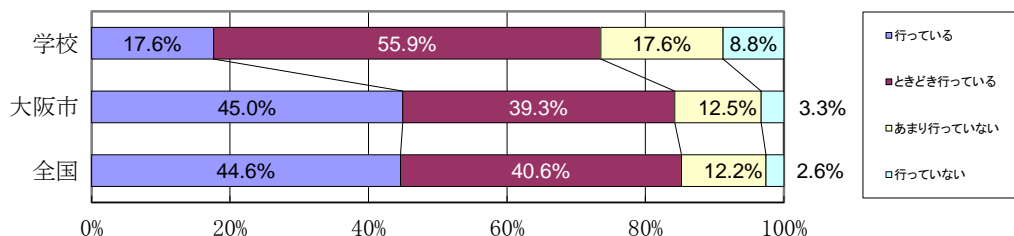


## 体育の授業について（女子）

### 質問 番号 質問事項

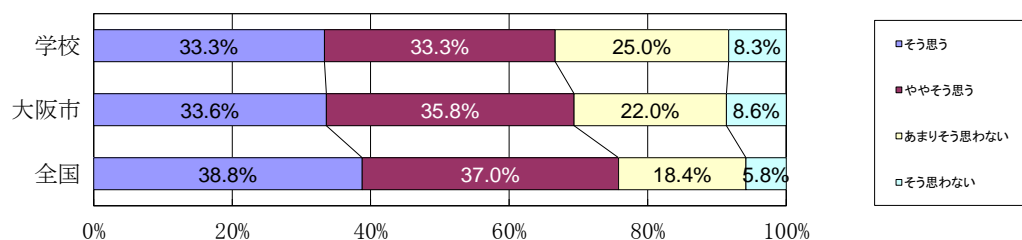
21

ふだんの体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。



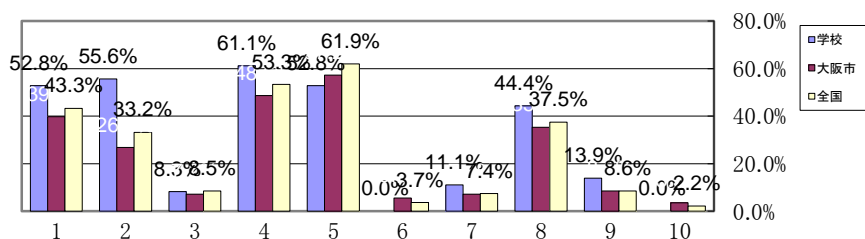
24

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



22

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。あてはまるもの全てを選んでください。



- 1 授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中に自分で工夫して練習した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きを撮影したビデオを見た
- 7 授業外の時間に先生に教えてもらった
- 8 授業外の時間に自分で練習した
- 9 授業外の時間に自分で本を読んだりビデオを見たりした
- 10 できるようになったことがない

### 成果と課題

男子同様、体育の授業では、めあてをしっかりと持って活動しており、児童もそれを意識できている。男子と一緒に授業を行っているが、女子は授業の最後に内容の振り返りを行っていると感じている児童も多い。授業の中で話し合い活動をしていると感じている児童の割合が少し低い。できなかったことができるようになったきっかけも、友だちに教えてもらったという項目の割合が高い男子と違い、自分で工夫してできるようになった児童が多い。体育の授業で学習している内容が、将来役に立つと感じている児童の割合は男子同様低い。

### 今後の取組

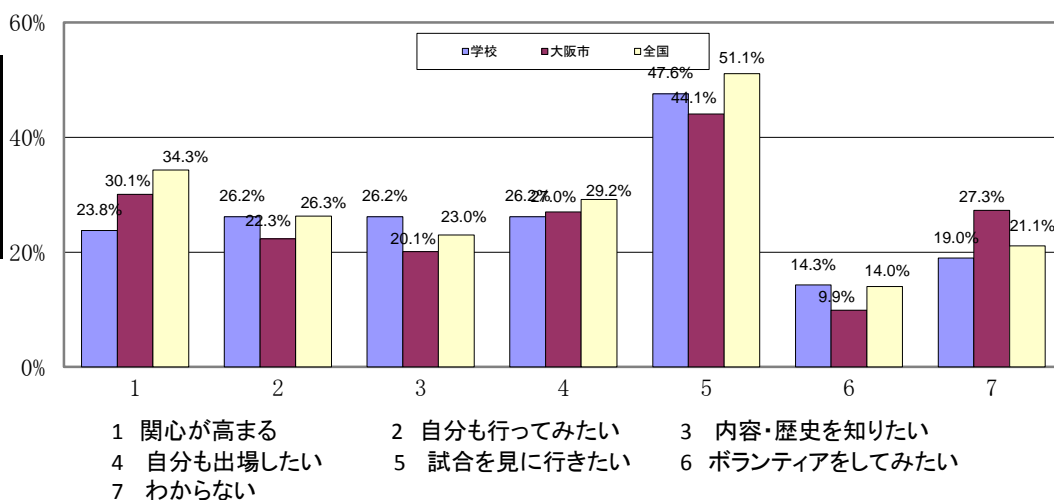
今後も児童が運動を楽しめる場やルールの工夫を行い、児童が運動を続けていきたいと感じるような取り組みを行っていく。  
また、運動をすることが将来にわたって健康で楽しい生活につながっていくことを理解させるような学習の場が必要である。

## その他（男子）

### 質問 番号 質問事項

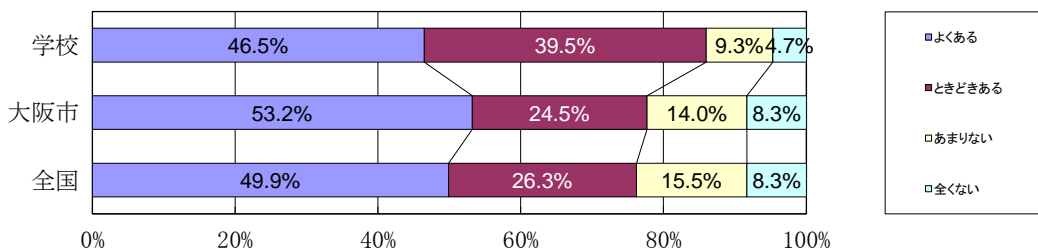
30

オリンピック・パラリンピックを日本で行うことになりましたが、あなたの今の気持ちに当てはまるもの全て選んでください。



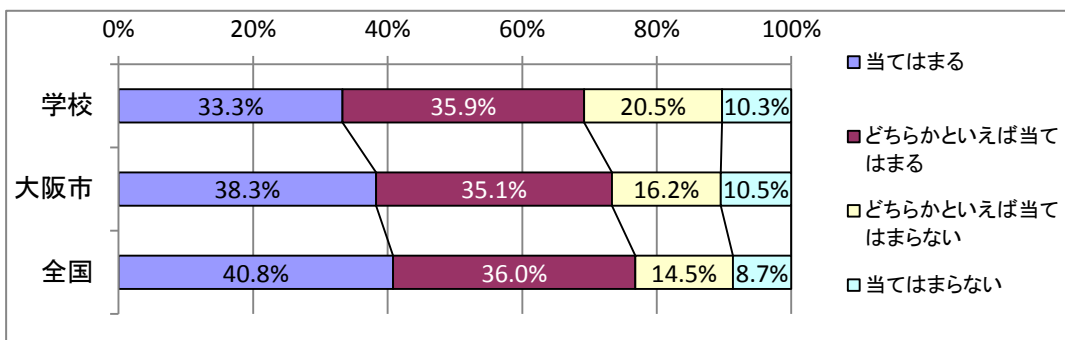
25

放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。



33

自分には、よいところがあると思う

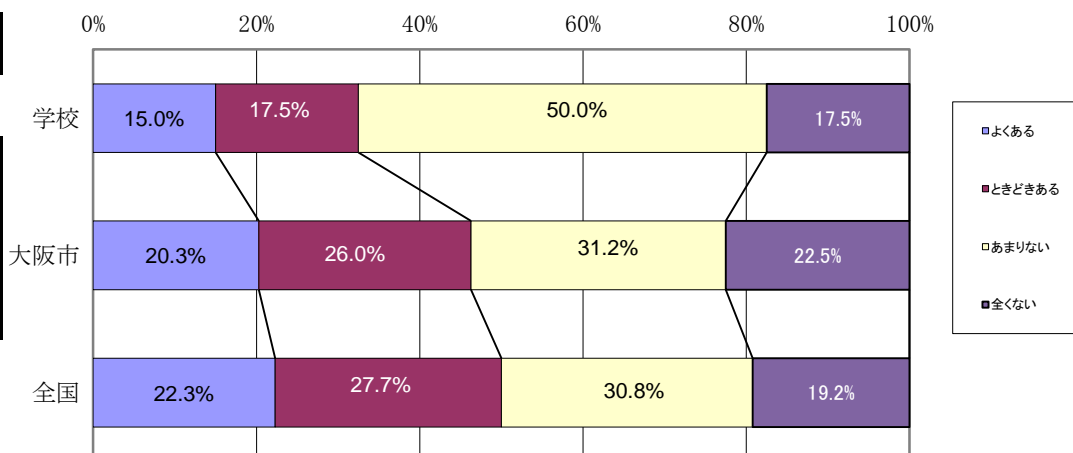


## その他（男子）

質問  
番号 質問事項

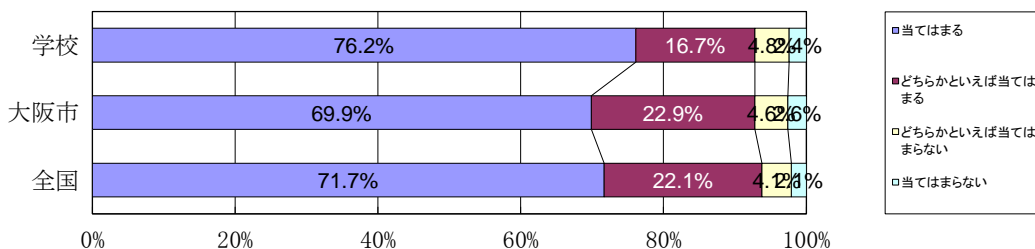
26

放課後や学校が休みの日に、鉄棒やうんていなど腕の力を使う運動をすることがありますか



31

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



### 成果と課題

東京オリンピックに関しては、見に行きたい児童の割合が予想通り一番多かった。その他の項目でも概ね全国平均や大阪市平均よりも高い割合になっているので、関心を持って楽しみにしている様子がわかる。ボール運動をしている児童の割合は多いが、鉄棒や雲梯などの腕力を使った運動をしている割合が低い。ボール運動は勝敗がはっきりついたり、技術的な向上がはっきり分かたりするので、児童が楽しんで取り組んでいると考えられる。児童が楽しんで腕力を鍛える取り組みを工夫していく必要がある。児童アンケートでもいえることだが、高学年になるほど自尊感情の高まりが低い。

### 今後の取組

児童が楽しみながら腕力を鍛えることにつながる取り組みの工夫を行う。腕力に限らず、授業の中で、初めの10分ほどはパワーアップのための取り組みを続けるなど、筋力アップにつなげるためには、継続して取り組む必要がある。

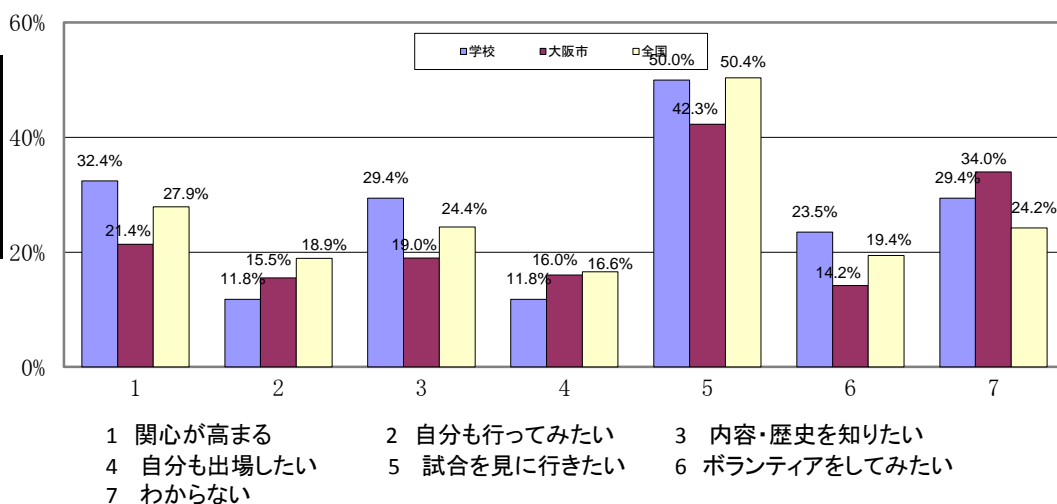


## その他（女子）

### 質問 番号 質問事項

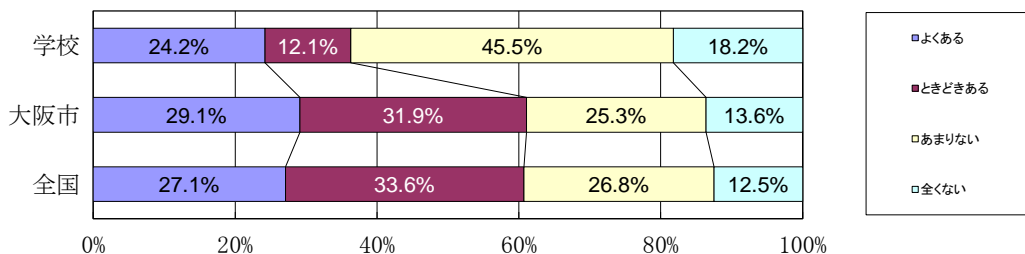
30

オリンピック・パラリンピックを日本で行うことになりましたが、あなたの今の気持ちに当てはまるもの全て選んでください。



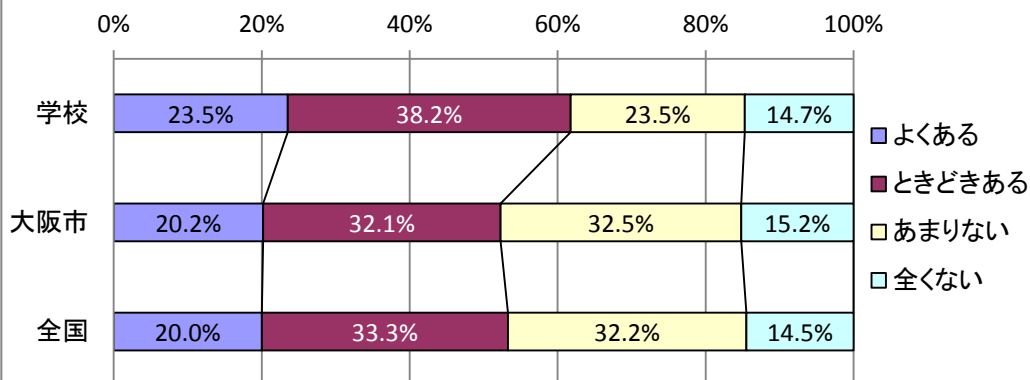
25

放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。



26

放課後や学校が休みの日に、鉄棒やうんていなど腕の力を使う運動をすることがありますか。

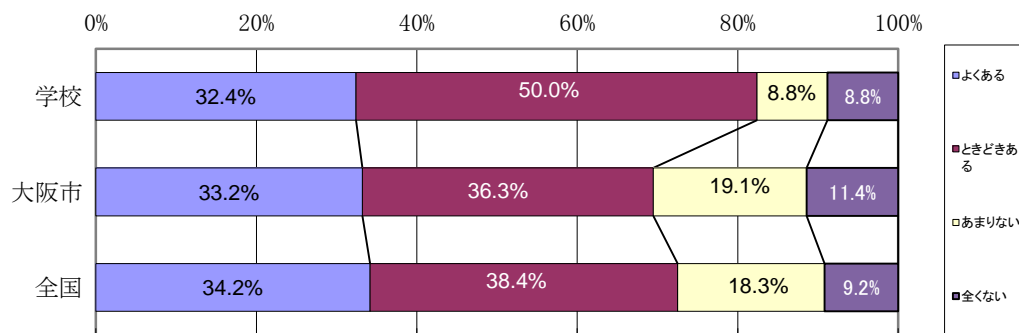


## その他（女子）

### 質問 番号 質問事項

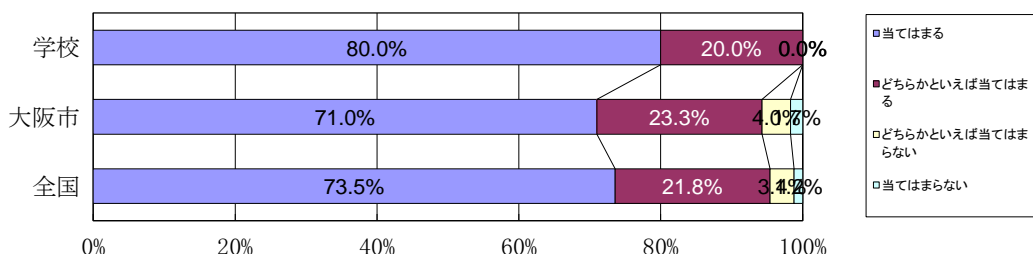
27

放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか



31

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



### 成果と課題

女子は、放課後や休みの日にスポーツクラブ以外の部分で体を動かしている児童が多い。また女子は男子と逆で、腕力を使う運動をしている児童が多く、ボールを使った運動をしている児童の割合が低い。ボールを使う運動は技術に大きな差が出るので、女子にとってはやりにくい運動であると考えられる。握力は全国平均を上回っており、普段の運動が結果に表れている。また、物事を最後までやり遂げる達成感を味わっている児童の割合が多い。東京オリンピックに関しては、男子同様、概ね関心を持っていることがわかる。

### 今後の取組

ボール運動など、女子児童が取り組みにくい運動も場の工夫やルール工夫などを行い、みんなが親しんで取り組めるようにしていく。